

【ビデオ起動ツール「再生くん」マニュアル補足資料】

「LimeChat」を利用してリアルタイムでインデックスを作る方法（Mac 版） ～「再生くん」マニュアルと併せてご利用下さい～

2014 年 6 月 19 日

文責：高悠史

この資料はビデオ起動ツール「再生くん」マニュアルの補足資料です。

本編で紹介したように、「再生くん」は時間情報が入った Microsoft Excel ファイルがあれば、それをビデオ再生のインデックスとして利用して、その時間情報の位置からビデオを再生できるという機能を備えています。

この補足資料では、ワークショップやミーティングなどの現場を念頭に、ビデオ再生用インデックスを活動の最中にリアルタイムに作りたい場合の工夫として、IRC チャットを使う方法を紹介します。この方法は、活動の最中に気づいたことや記録したいことを「コメント」としてチャットに投稿するだけで、時間情報が自動的に付与されて記録されるので、インデックス作成を効率良く行うことができます。また複数人で共有しながら、協力してインデックス作成を行うことにも利用でき、結果を集約するのも簡単です。

以下では Mac OS X 用のフリーの IRC チャットクライアント「LimeChat for Mac」(<http://limechat.net/mac/ja.html>)を例に説明します。「LimeChat」には Windows 版、Mac 版の他に iPhone/iPad 版などもあります（iPhone/iPad 版は有料）。Windows 版についてもマニュアルを用意しておりますので、Windows ユーザの方はそちらをご覧ください。

※ 複数人でチャットを行う場合、以下の設定の一部（特に 1. や 5. など）は最低限 1 人だけが行えばよく、他の人は省略できるように思われるかもしれませんが、しかし予期せぬエラーや設定ミスによるリスクを回避するため、少なくとも 1. から 5. までは全て、**原則として全員が設定をしておくことを推奨します。**

※ ビデオ撮影の際には、撮影開始時刻をなるべく正確に記録しておくのを忘れないようにしましょう（6. 参照）。ビデオカメラによっては撮影したビデオファイル名に、撮影開始年月日と時刻が自動で付与されるものもあり便利です。ただし、このファイル名の時刻はビデオカメラの時計が正確に設定されていないと意味がありませんのでご注意ください。

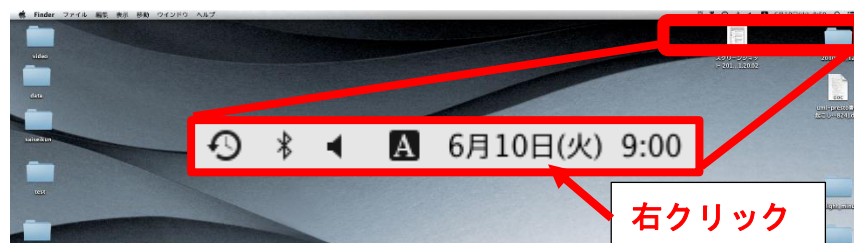
目次

1. PC の時計を合わせる	3
2. 「LimeChat」のインストール.....	4
3. 「LimeChat」の起動	5
4. 接続設定.....	7
4-1. 「New Connection」画面で設定する場合	7
4-2. メイン画面で設定する場合	10
4-3. チャットを開始する（チャンネルに入る）	14
5. ログ出力の設定	16
6. チャットのログファイルを「再生くん」用の時間情報ファイルに変換する	18
6-1. 作業の概要.....	18
6-2. 詳細な手順（ログファイルを CSV ファイルに変換するまで）	18
6-3. 詳細な手順（CSV ファイルを Excel で開き、「再生くん」用に編集する）	24
7. Excel ファイルを作る時の工夫・コツ	27

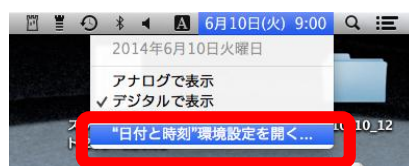
1. PC の時計を合わせる

まずお使いの PC の時計を正しく合わせておく必要があります。

- ① デスクトップ画面右上の時刻を確認し、不正確だったら右クリックします。



- ② 表示されるメニューから「日付と時刻」環境設定を開く」をクリックします。



- ③ 「日付と時刻」ウィンドウで、日付と時刻を正しく設定します。



- ④ ウィンドウ左上の赤い「×」ボタンをクリックして閉じます。



2. 「LimeChat」のインストール

「Mac App Store」から「LimeChat」をインストールします。

※ 「Mac App Store」で提供されている「LimeChat」は、古いバージョンの Mac OS ではインストールできない場合があります。OS のバージョンが 10.7 Lion であれば、「LimeChat」の公式サイト (<http://limechat.net/mac/ja.html>) から該当バージョンを入手できます。

- ① 「Mac App Store」を開き、「LimeChat」を検索します。



- ② 検索結果に「LimeChat」が表示されたら、「インストール」をクリックします（「無料」と表示されている場合もあります）。



- ③ 「インストール済み」と表示されたらインストール完了です。

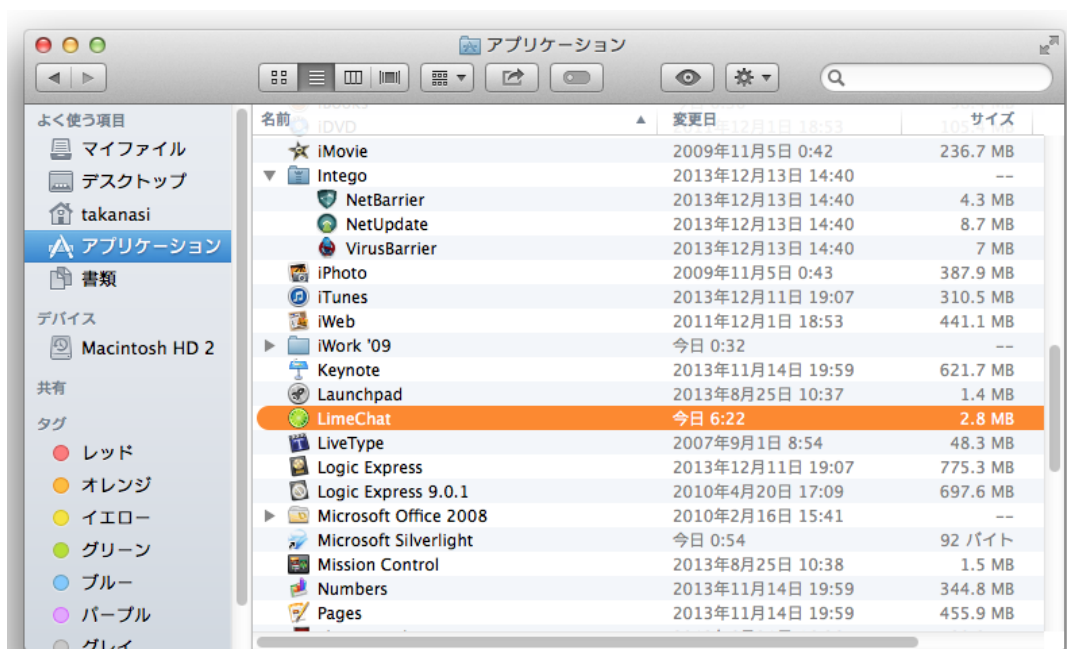


3. 「LimeChat」の起動

- ① 「Finder」の「移動」メニューから「アプリケーション」を選びます。



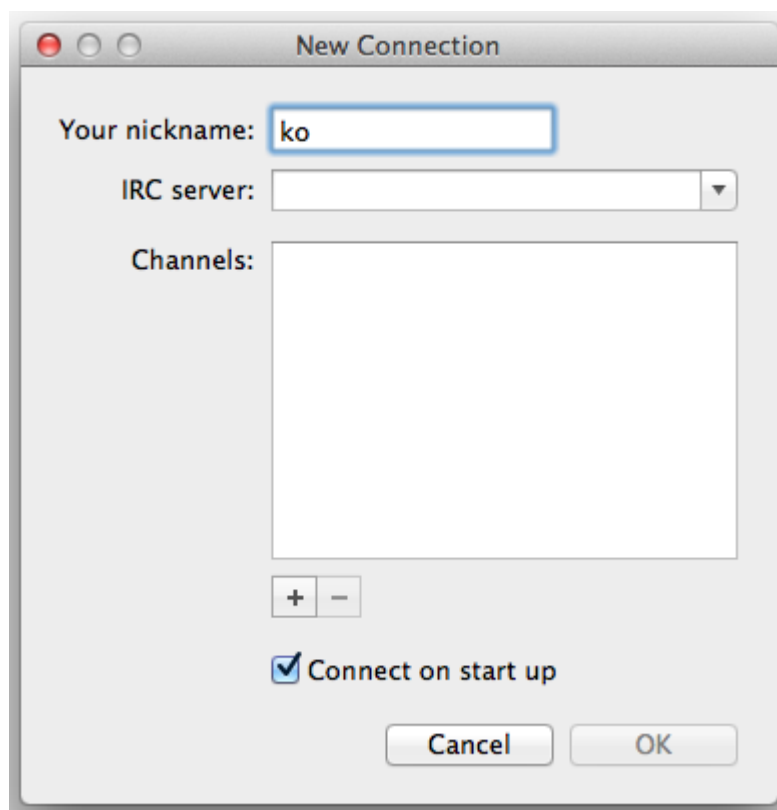
- ② 「アプリケーション」から「LimeChat」をダブルクリックします。



- ③ 「LimeChat」が起動します。



※ 初回起動時など後述の接続設定をしていない時は次の画面が表示されます。



4. 接続設定

IRC チャットは、IRC サーバに接続し、チャンネルに入ることによって利用できます。ここでの設定に先立って、接続するサーバのアドレスと、使用するチャンネルの名前を事前に決めておく必要があります。サーバについては、特にこだわりが無ければ初めはインターネット上で公開されている「irc.ircnet.ne.jp(IRCnet)」を利用してみるとよいでしょう。チャンネルは好きな名前のものを作ることができますが、必ず「#」（半角シャープ）から始めなければなりません。チャットに参加する人同士で相談して決めておいてください。以下では、

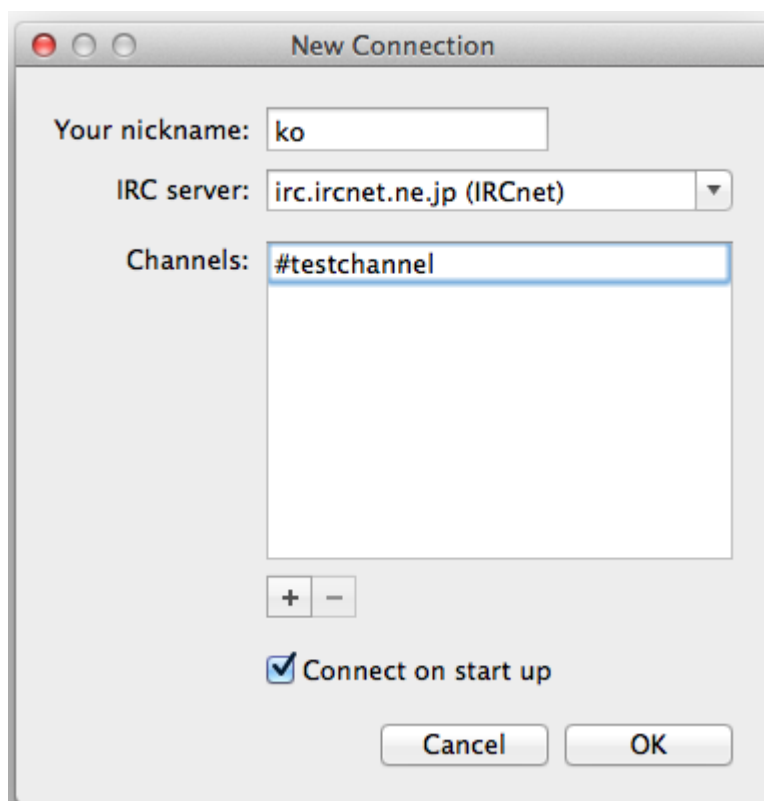
- サーバ：「irc.ircnet.ne.jp(IRCnet)」
- チャンネル：「#testchannel」

という設定で利用する例をご紹介します。

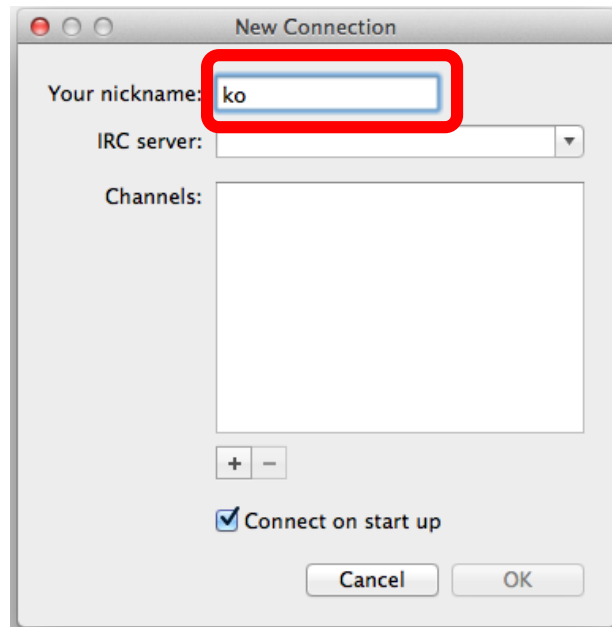
4-1. 「New Connection」画面で設定する場合

初めて接続設定をする時は、「New Connection」という画面が表示され、サーバとチャンネルをまとめて設定できます。ここで設定した場合、次の4-2. は読み飛ばして下さい。

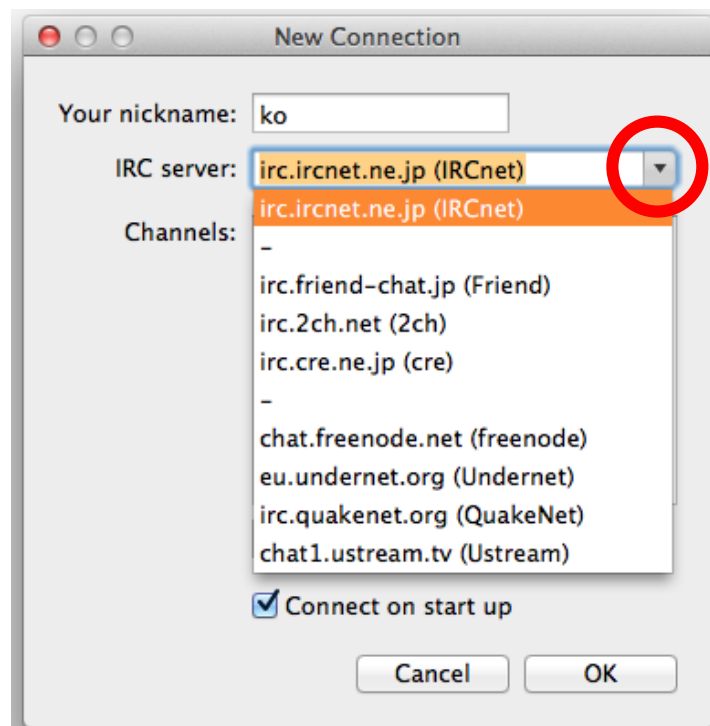
- Your nickname：チャットに参加する時の自分の名前
- IRC server：接続するサーバのアドレス
- Channels：入りたいチャンネル名



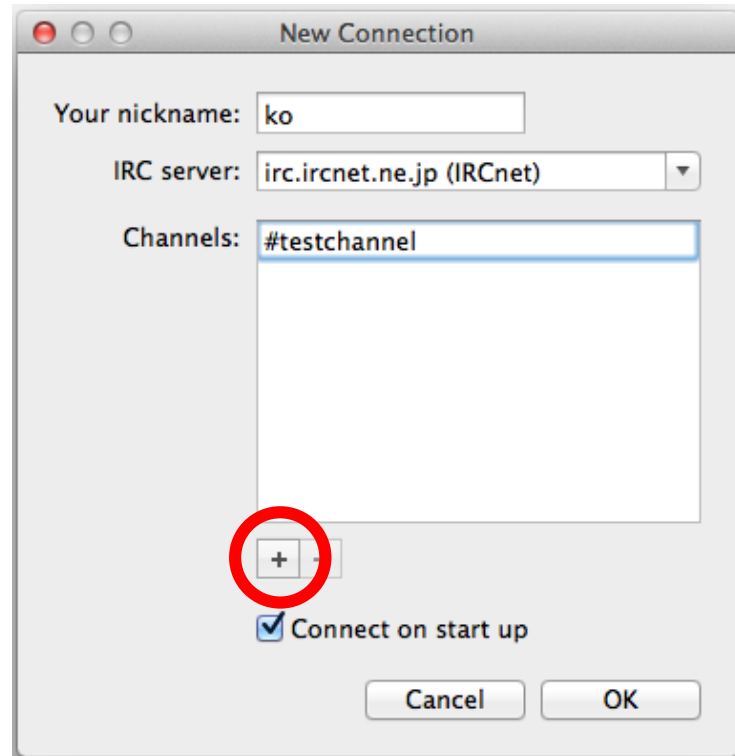
- ① 「Your nickname」 にチャットに参加する時に使いたい名前を入力します。



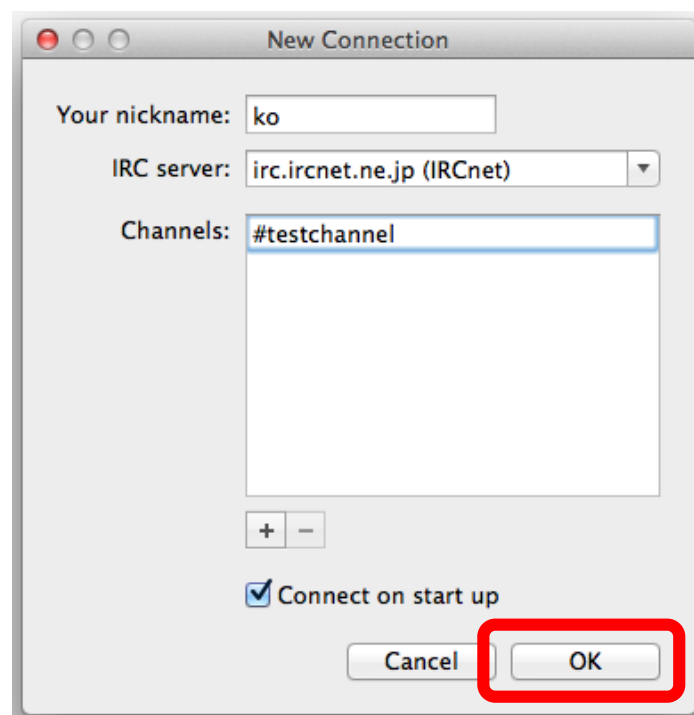
- ② 「IRC server」 に接続するサーバのアドレスを入力します。
「irc.ircnet.ne.jp(IRCnet)」は右側の「▼」ボタンをクリックして表示されるリストから選択することも可能です。



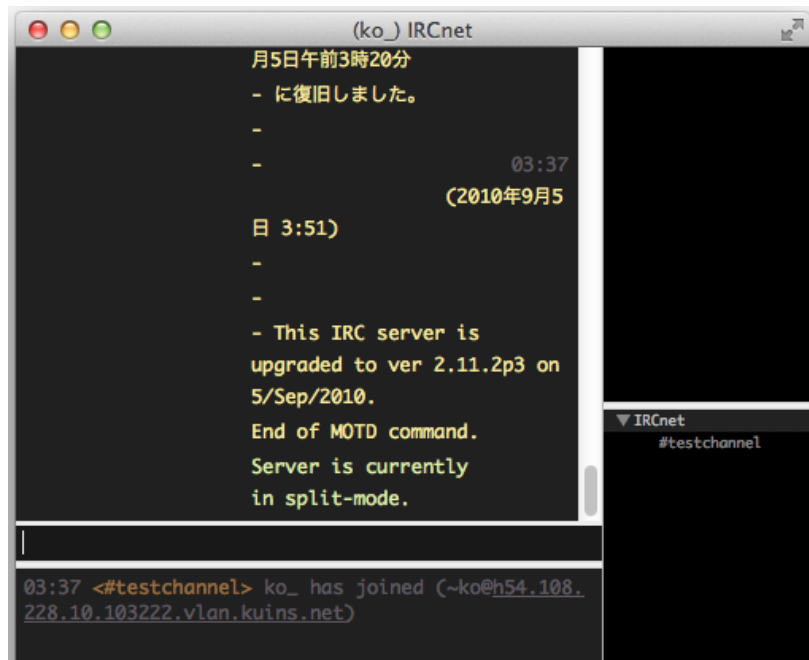
- ③ 画面下部の「+」ボタンをクリックしてチャンネル名を入力します（ここでは「#testchannel」）。



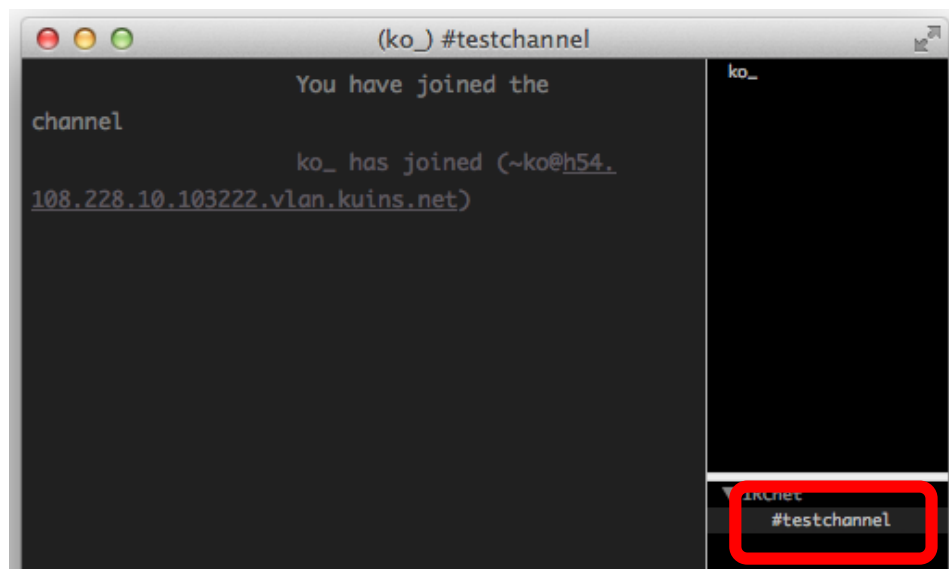
- ④ 「OK」ボタンをクリックして設定を完了します。



- ⑤ メイン画面が表示され、IRC サーバに接続されます。



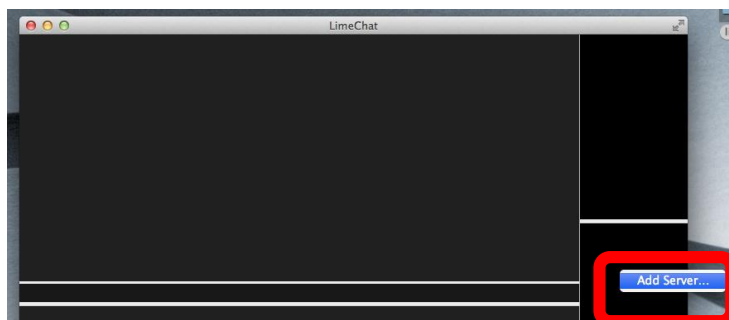
- ⑥ 画面右下のチャンネル名「#testchannel」をクリックしてチャンネルに入れば、チャットの利用開始です。



4-2. メイン画面で設定する場合

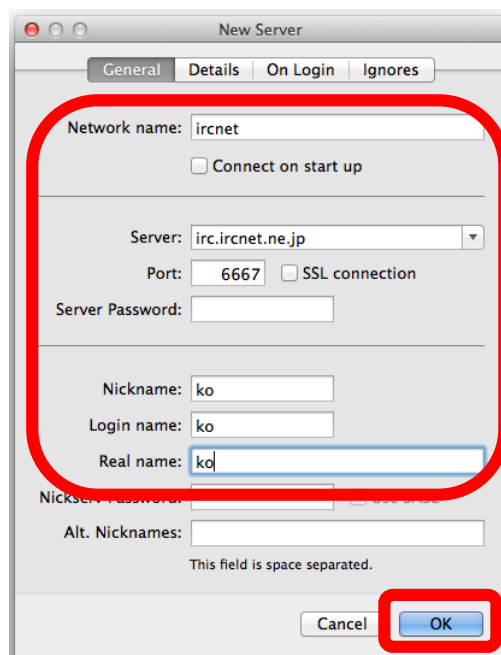
- ※ 上の 4-1. で設定を済ませた場合、この節は読み飛ばして次の 4-3. に進んでください。

- ① 画面右下で右クリックし、「Add Server」を選択します。

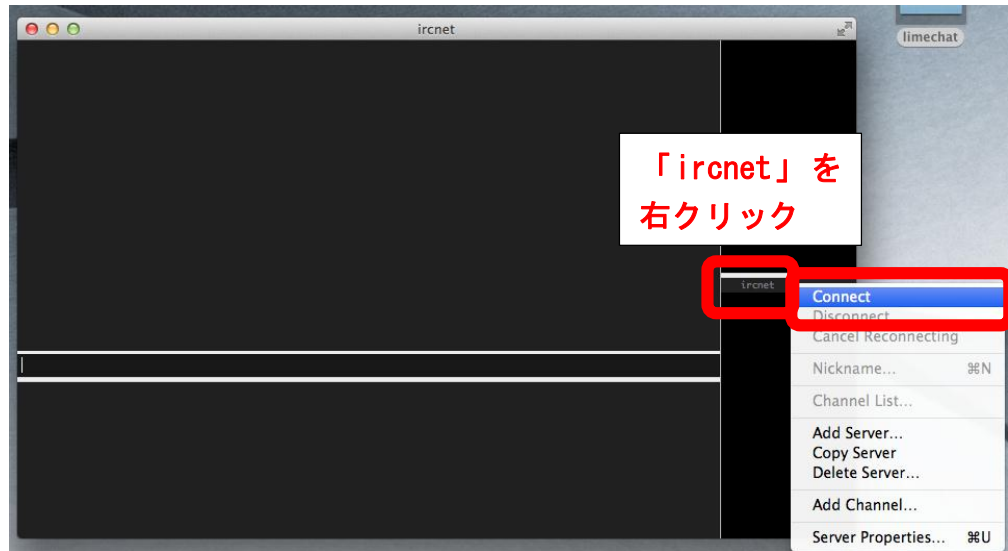


- ② 「New Server」画面で各項目を入力します。設定が済んだら「OK」をクリックします。

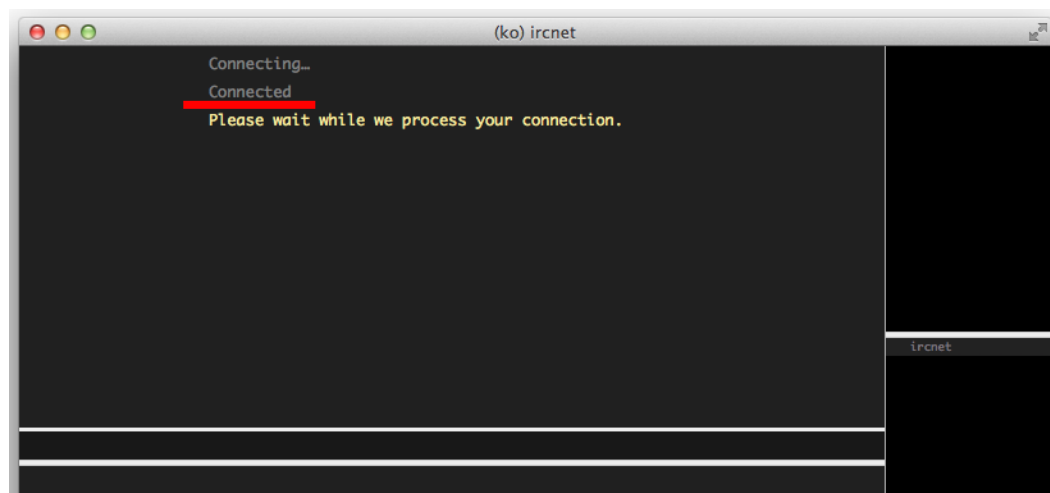
- 「Network name」: 分かりやすいお好みの名前を付けて下さい（ここでは「ircnet」）。
- 「ホスト名」: 接続する IRC サーバのアドレスを入力します。この例で使用する「irc.ircnet.ne.jp(IRCnet)」は、右側の「▼」ボタンをクリックして表示されるリストから選択することも可能です。
- 「Port」: 基本的には「6667」を指定することが多いですが、接続する IRC サーバによって異なる場合があります。サーバを決める時に併せて確認しておいて下さい。
- 「Nickname」・「Login name」・「Real name」: チャットに参加する時の名前を決めて下さい。ここで設定した名前が、チャット中に他の参加者に見える名前になります。3つの欄とも同じ名前で構いません。



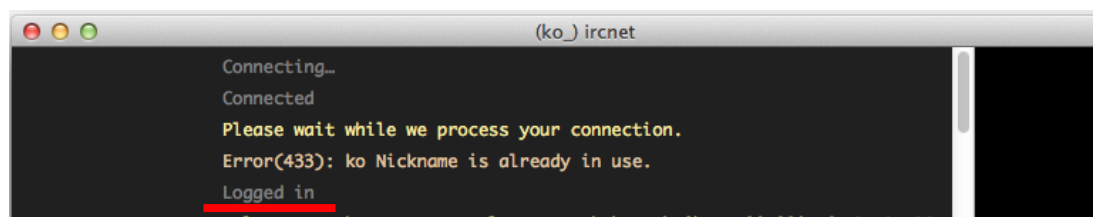
- ③ メイン画面右下に「ircnet」が追加されるので、これを右クリックし、表示されるメニューから「Connect」を選択して接続します。



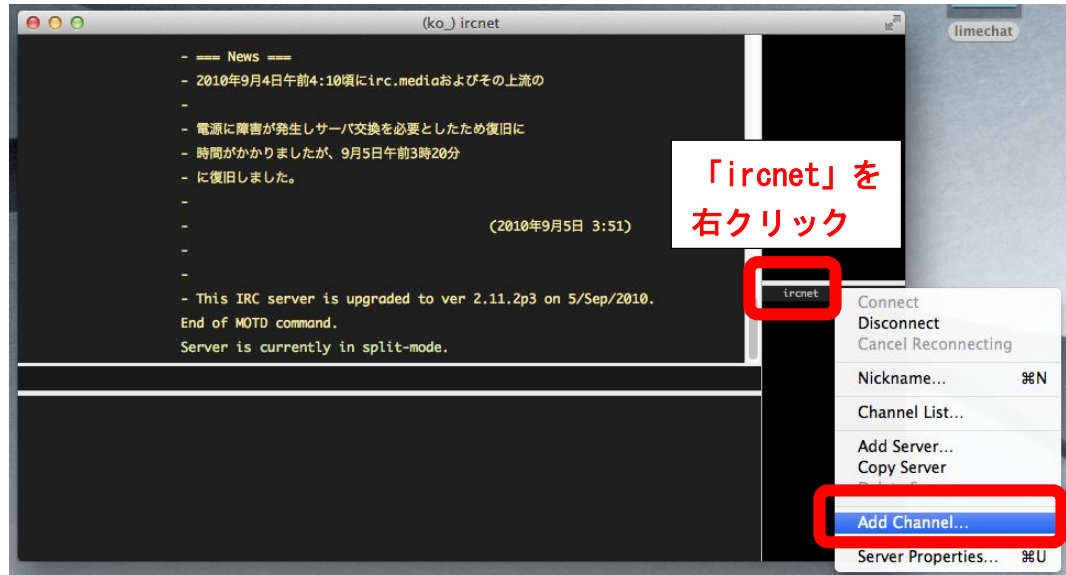
- ④ 「Connected」と表示されたら接続成功です。ログイン処理が行われるのでしばらく待ちます。



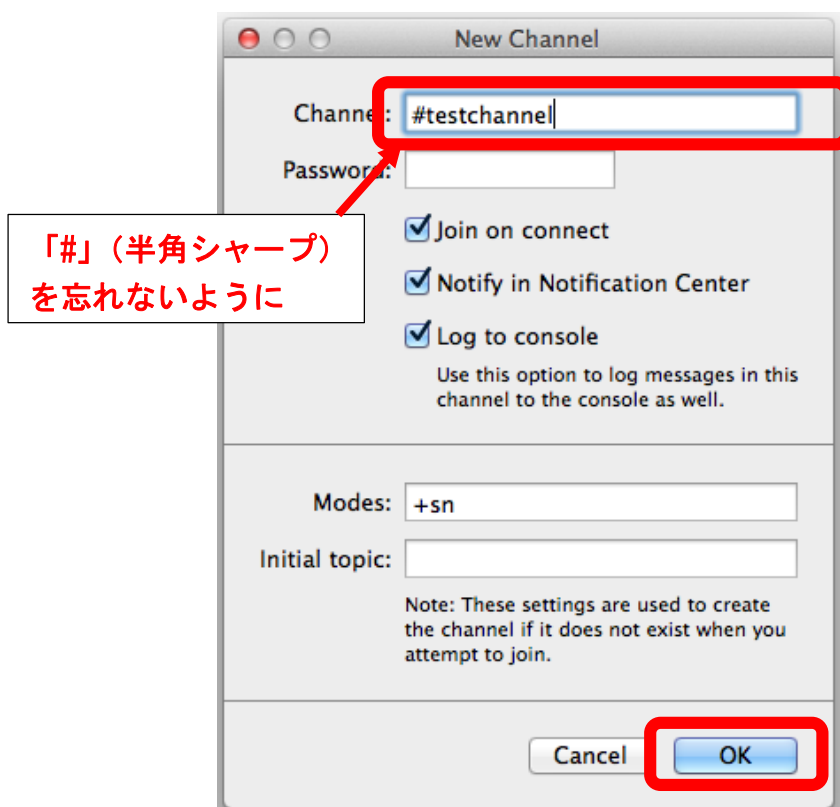
- ⑤ 「Logged in」と表示されたらログイン成功です。



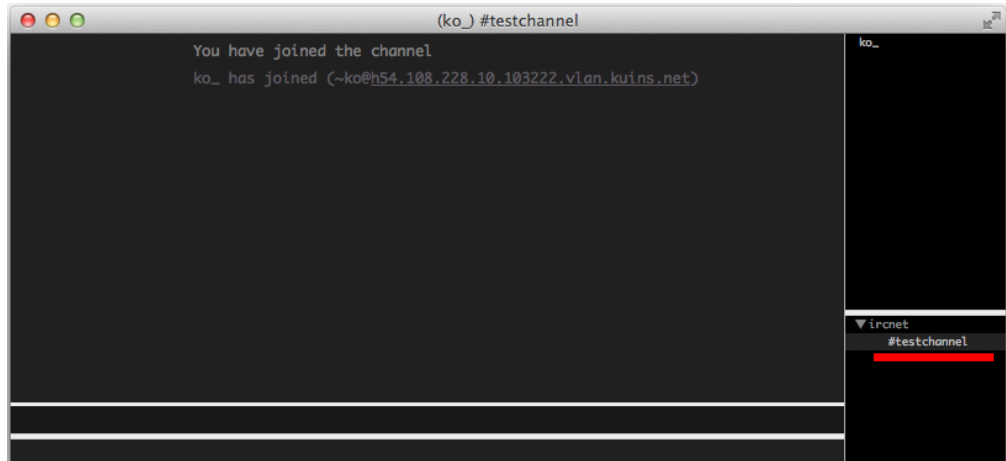
- ⑥ メイン画面右下の「ircnet」を右クリックし、表示されるメニューから「Add Channel」を選択します。



- ⑦ 「New Channel」画面で「Channel」欄に、4. の冒頭で述べた通り事前に決めておいた「チャンネル名」を入力します（ここでは「#testchannel」）。入力が済んだら「OK」ボタンをクリックして完了します。



- ⑧ メイン画面右下に、サーバ名にぶら下がる形で、追加したチャンネル（「#testchannel」）が表示されます。



4-3. チャットを開始する（チャンネルに入る）

- ① 前節までの設定を済ませ、チャットに使用するサーバに接続した状態で、画面右下のチャンネル名（ここでは「#testchannel」）を右クリックし、表示されるメニューから「Join」を選択し、チャンネルに入ります。

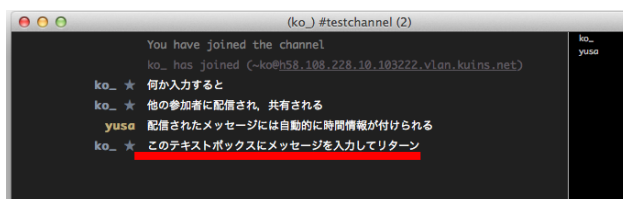


- ② 画面左側に「You have joined the channel」と表示されれば成功、チャットの利用開始です。



- ③ 画面左下部のテキストボックスにメッセージを入力して「return」キーを押すと、メッセージが送信され、同じチャンネルに入っている他の参加者に配信されます。

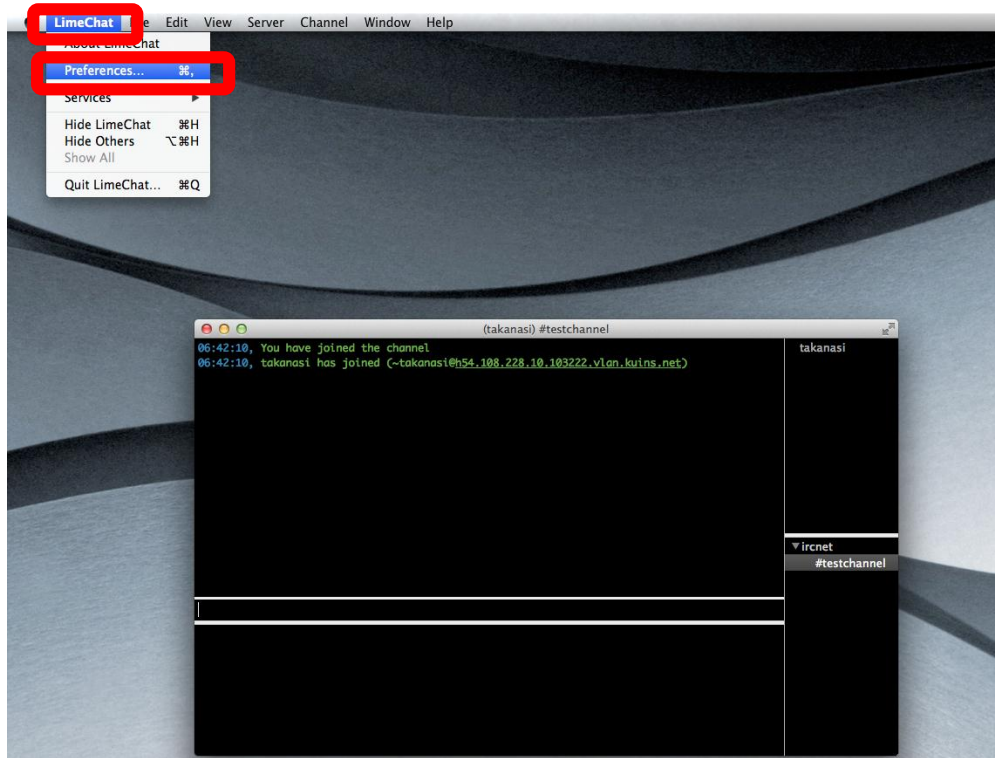
※ 入力するメッセージには、「,」（半角カンマ）を使わないようにしてください。これは後の 6. で説明するように、チャットのログを Excel で読み込める形式に変換しやすくするためです。



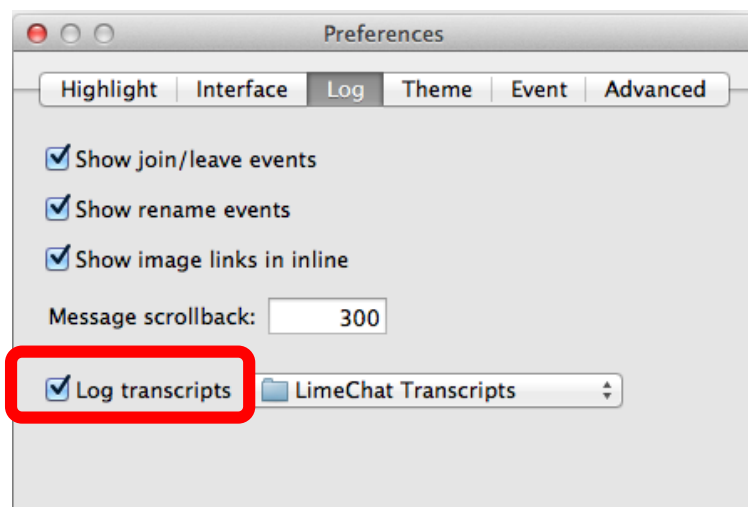
5. ログ出力の設定

「LimeChat」ではチャットのログをテキストファイルに保存することができます。ログを「再生くん」で利用しやすい書式で出力するための設定を行います。

- ① デスクトップ上部のメニューから「LimeChat」→「Preferences」と選択します。



- ② 「Preferences」画面で「Log」タブをクリックし、一番下の「Log transcripts」にチェックを入れます。



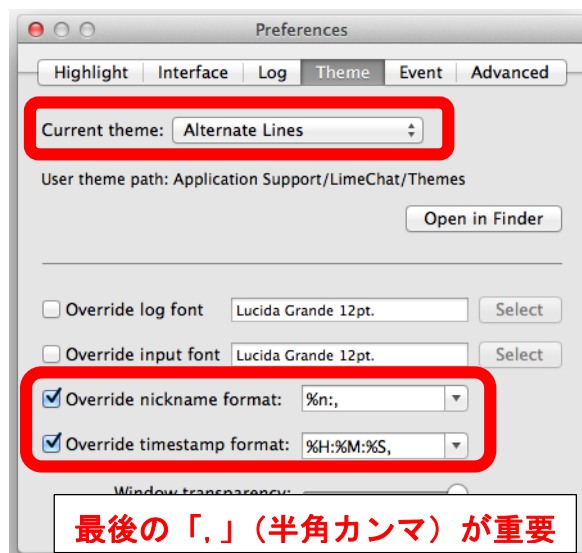
③ さらに「Theme」タブをクリックし、以下の項目を設定します。

- 「Current theme」: 「Limelight」以外に設定（ここでは「Alternate Lines」）

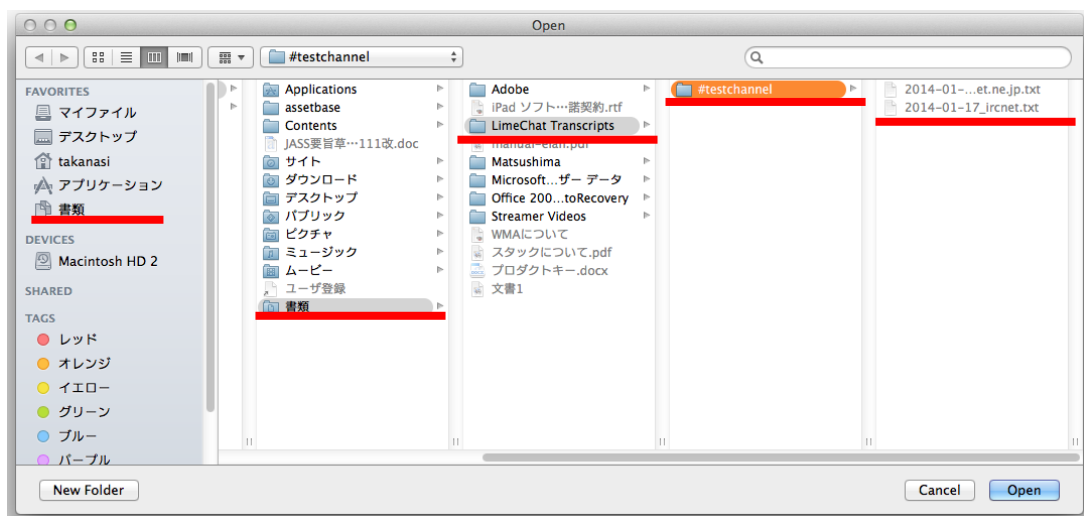
※ 初期設定の「Limelight」はチャット中に時刻情報が表示されず不便なためです。

- 「Override nickname format」: 「%n:,」 と設定
- 「Override timestamp format」: 「%H:%M:%S,」 と設定

※ 最後の「,」（半角カンマ）は後でログを処理しやすくする工夫です。



④ これで設定は完了です。出力されたログは、「Finder」から「書類」→「LimeChat Transcripts」とたどり、使用したチャンネル名（ここでは「#testchannel」）のフォルダの中に保存されています。



6. チャットのログファイルを「再生くん」用の時間情報ファイルに変換する

チャットで自動的に付与される時間情報は、メッセージが入力された「時刻」の情報なので、これを「再生くん」で再生したいビデオファイルの冒頭からの「時間」の情報に変換する必要があります。ここではその手順を紹介します。

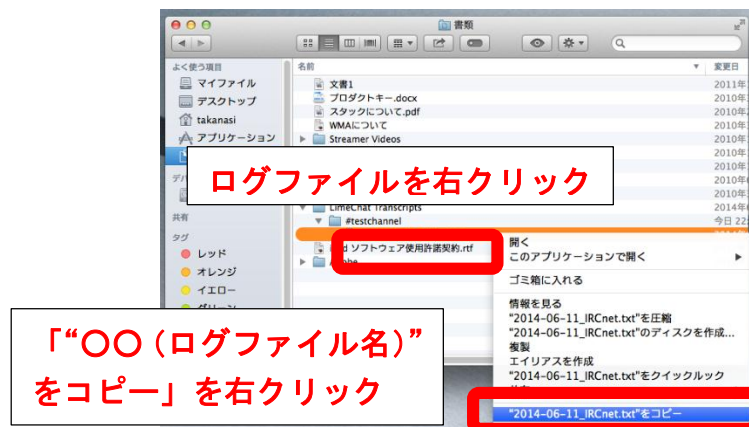
※ より正確に言うと、付与される時刻情報はメッセージを PC に受信した時刻です。そのため正しい時刻を記録するためには、ご使用の PC（特にメッセージの集約とログの保存を行う PC）の時計が正確である必要があります（1. 参照）。

6-1. 作業の概要

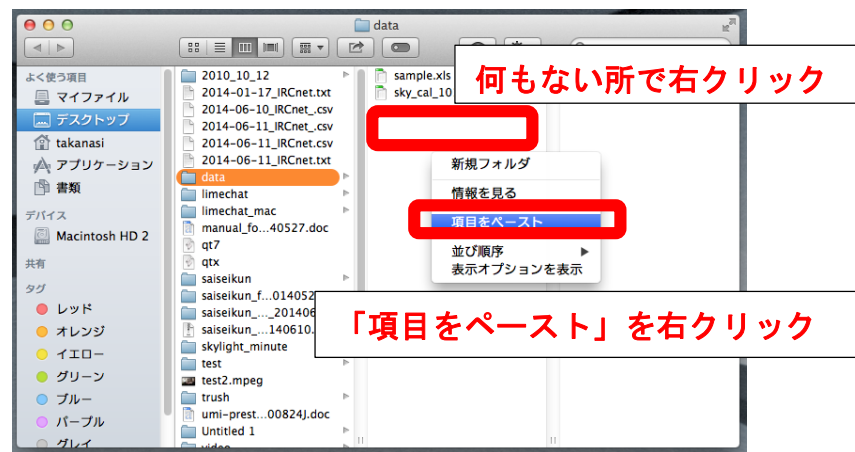
- (1) 5. で保存した「LimeChat」のログファイルを適当な場所にコピーする。
- (2) コピーしたファイルを「テキストエディット」で開く。
- (3) 文字の置換を行なって、時刻・ユーザ名・メッセージの間が「,」（半角カンマ）で区切られた形式（CSV）に変換する。
- (4) Excel で開く時に文字化けしないように、文字コードを「日本語（Mac OS）」に変換する。
- (5) 変換したファイルの拡張子を「.txt」から「.csv」に変更する。
- (6) 変更した CSV ファイルを Excel で開く。
- (7) 開いたファイルの A 列と B 列の間に空列を挿入する。
- (8) 新たに挿入された B 列の各行に「A 列ービデオの撮影開始時刻」を計算する数式を記入する。ビデオの撮影開始時刻は「時:分:秒」の書式とする。2 行目のセルに記入してから必要な行にコピーすると簡単（1 行目は後でビデオファイルのパスを記入するために空けておく）。

6-2. 詳細な手順（ログファイルを CSV ファイルに変換するまで）

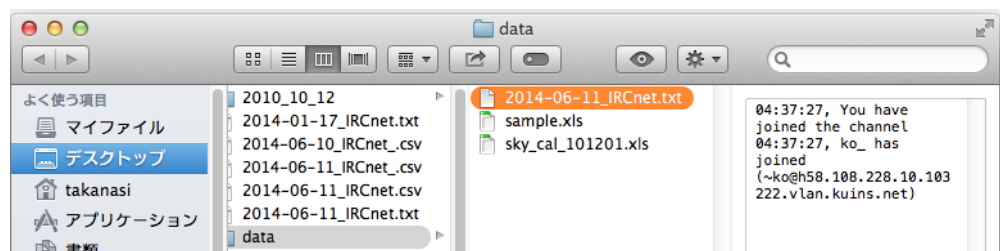
- ① 5. で保存した「LimeChat」のログファイルを右クリックし、表示されるメニューから「〇〇（ログファイル名）」をコピー」を選択します。



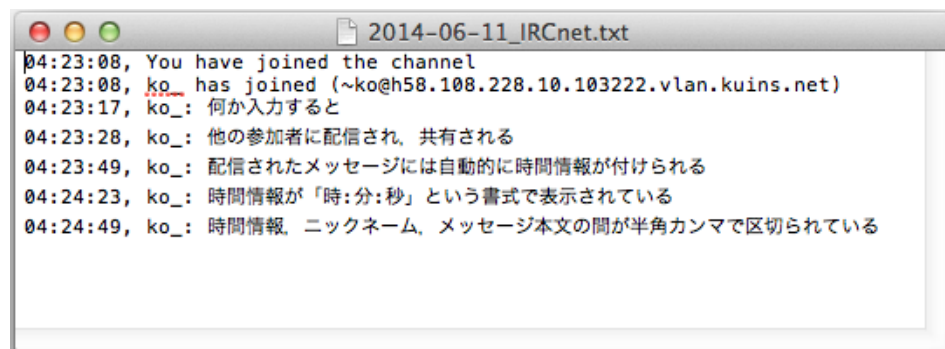
- ② 適当なコピー先フォルダを開いて、アイコンなどが何もないスペースを右クリックし、表示されるメニューから「項目をペースト」を選択します。



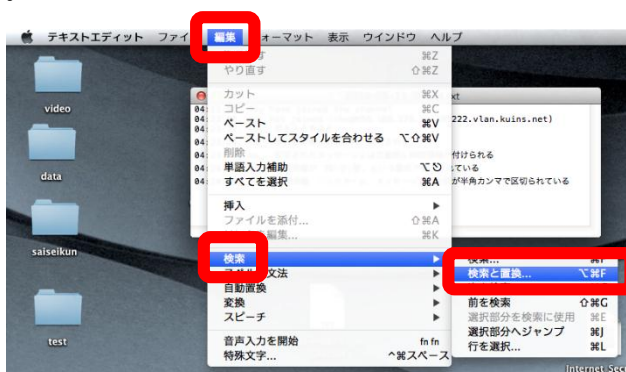
- ③ ログファイルのコピーが完了します。



- ④ コピーしたログファイルをダブルクリックすると、「テキストエディット」が起動してファイルが開かれます。

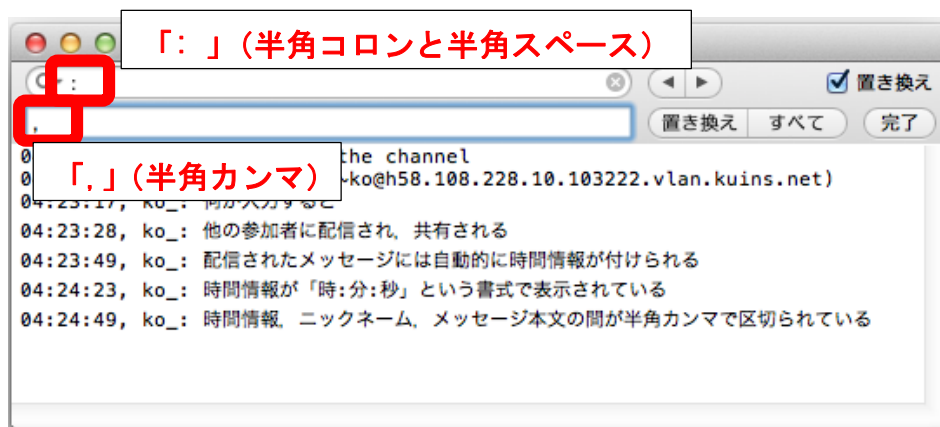


- ⑤ 「テキストエディット」のメニューから「編集」→「検索」→「検索と置換...」を選択します。

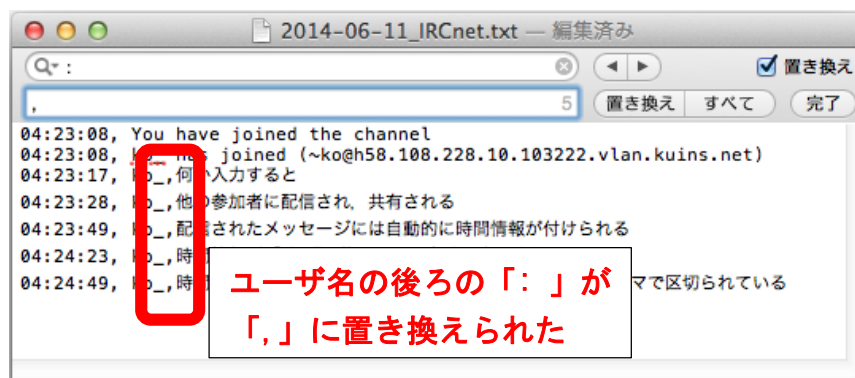


- ⑥ 二つのテキストエリアが表示されるので、上の方には「:」（半角コロンと半角スペース）を、下の方には「,」（半角カンマ）を入力します。

※ 半角コロンの後ろに半角スペースを付けるのを忘れないでください。ここでの操作はユーザ名（ここでは「ko_」）の後ろの「:」だけを「,」に置き換えるためのものです。半角スペースを付け忘れると、時刻部分の「:」まで置き換えられてしまいます。



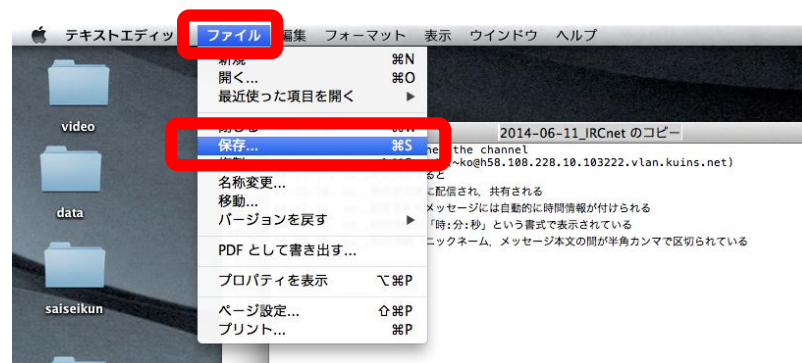
- ⑦ 置き換えが完了します。



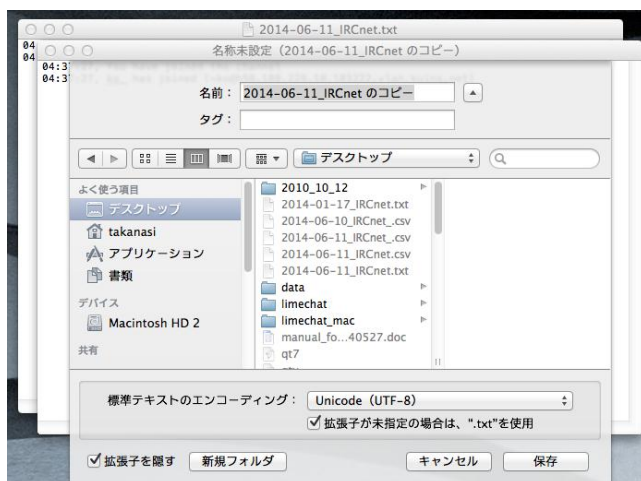
- ⑧ 「テキストエディット」のメニューから「ファイル」→「複製」を選択します。



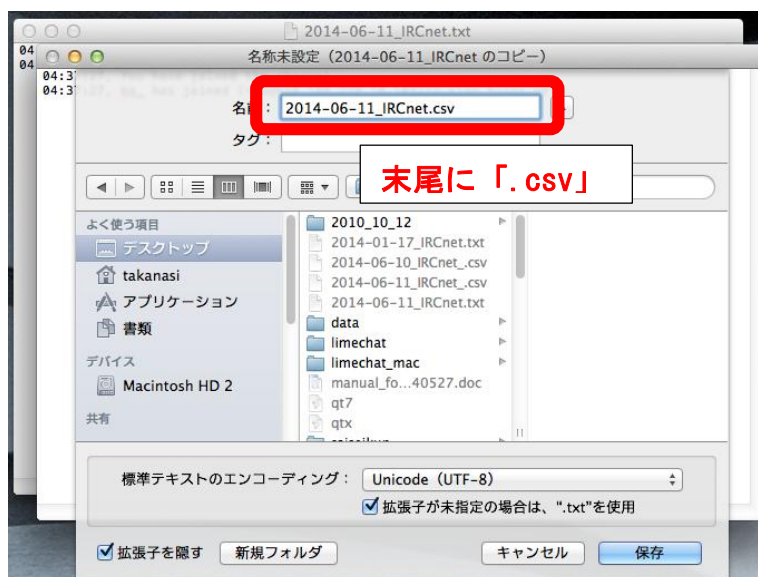
- ⑨ 「〇〇 (ログファイル名) のコピー」という新たなファイルが作成されるので、メニューから「ファイル」→「保存」を選択して保存します。



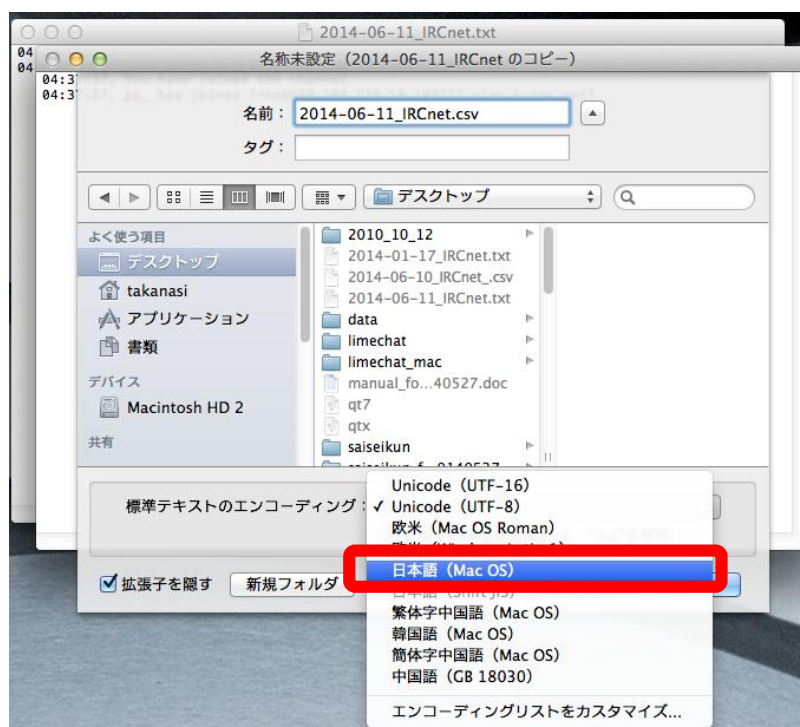
- ⑩ 保存ウィンドウが表示されます。



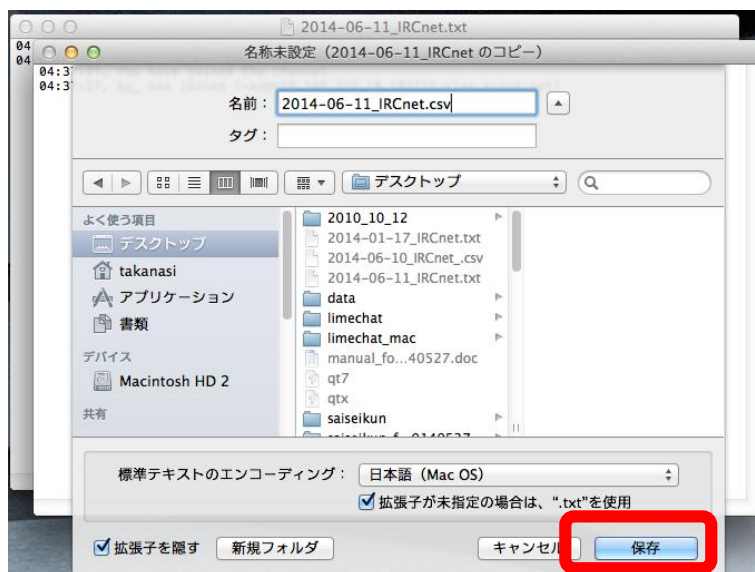
- ⑪ 「名前」に適切なファイル名を入力し（ここでは元のログファイル名と同じ名前）、末尾に「.csv」と記入します。



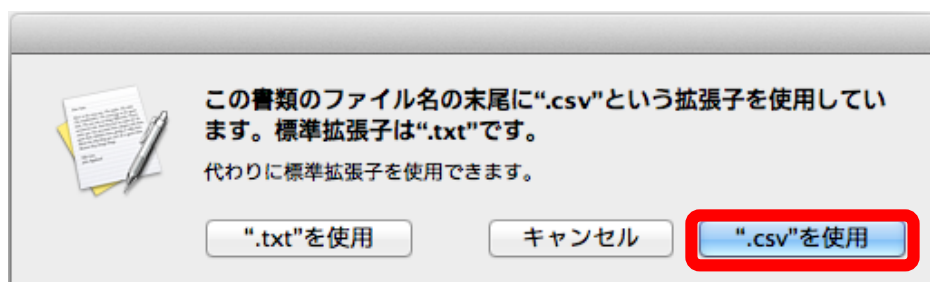
- ⑫ 「標準テキストのエンコーディング」リストをクリックし、「日本語 (Mac OS)」を選択します。



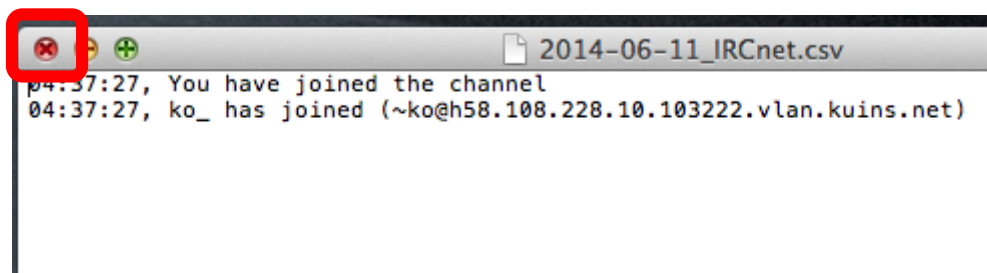
- ⑬ 「保存」をクリックします。



- ⑭ 拡張子変更の確認メッセージが表示されたら、「“.csv” を使用」をクリックします。

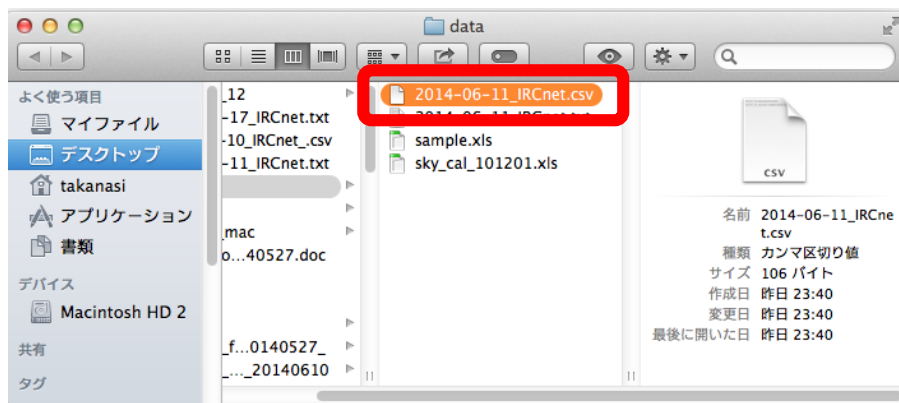


- ⑮ ファイルを閉じます。

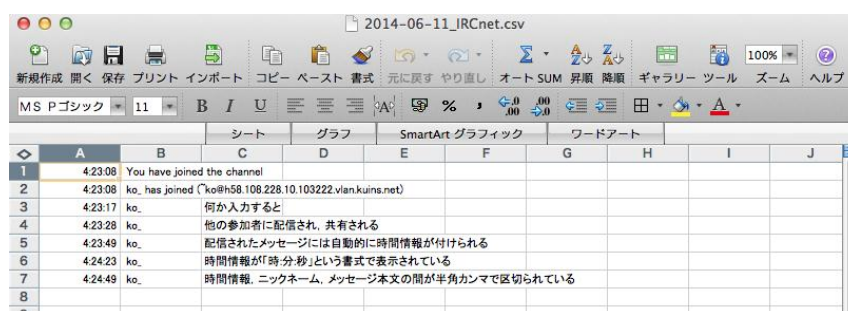


6-3. 詳細な手順（CSV ファイルを Excel で開き、「再生くん」用に編集する）

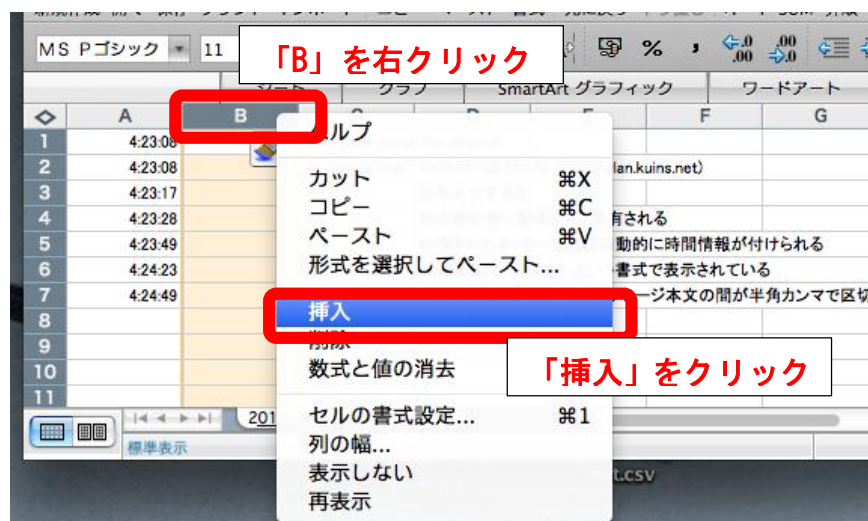
- ① 前節で保存した CSV ファイル（ファイル名末尾の拡張子が「.csv」）をダブルクリックします。



- ② Excel が起動してファイルが開かれます。



- ③ B 列一番上の列名「B」を右クリックし、「挿入」をクリックします。



- ④ 空列が挿入されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	4:23:08		You have joined the channel					
2	4:23:08		ko_has joined (~ko@h58.108.228.10.103222.vlan.kuins.net)					
3	4:23:17		ko_	何か入力すると				
4	4:23:28		ko_	他の参加者に配信され、共有される				
5	4:23:49		ko_	配信されたメッセージには自動的に時間情報が付けられる				
6	4:24:23		ko_	時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されている				
7	4:24:49		ko_	時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間が半角カンマで区切られている				
8								
9								
10								
11								

- ⑤ 新たに挿入された B 列で、A 列の時刻からビデオの撮影開始時刻を引算した値を計算します。B 列 2 行目のセルに「=A2-」(撮影開始時刻)」という数式を記入します。(撮影開始時刻)の部分には、ビデオの撮影開始時刻を(なるべく正確に秒単位で)記入します。記入する書式は「時:分:秒」で、「」(半角ダブルクォーテーション)で囲むのを忘れないでください。SONY の Handycam などの場合、ビデオのファイル名が撮影日時になっていることがあるので参考にすると便利です。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	4:23:08		You have joined the channel					
2	4:23:08	=A2-4:20:23	ko_has joined (~ko@h58.108.228.10.103222.vlan.kuins.net)					
3	4:23:17		ko_	何か入力すると				
4	4:23:28		ko_	他の参加者に配信され、共有される				
5	4:23:49		ko_	配信されたメッセージには自動的に時間情報が付けられる				
6	4:24:23		ko_	時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されている				
7	4:24:49		ko_	時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間が半角カンマで区切られている				
8								

- ⑥ 「return」キーを押すと計算結果が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	4:23:08		You have joined the channel					
2	4:23:08	0:02:45	ko_has joined (~ko@h58.108.228.10.103222.vlan.kuins.net)					
3	4:23:17		ko_	何か入力すると				
4	4:23:28		ko_	他の参加者に配信され、共有される				
5	4:23:49		ko_	配信されたメッセージには自動的に時間情報が付けられる				
6	4:24:23		ko_	時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されている				
7	4:24:49		ko_	時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間が半角カンマで区切られている				
8								

- ⑦ B 列の他の行でも同様の計算を行います。まず B 列 2 行目のセルを 1 度クリックし、選択状態にします。次にセルの右下にカーソルを合わせると「+」マークに変わります。その位置でマウスの左ボタンを押し、そのまま押しっぱなしにします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	4:23:08		You have joined the channel					
2	4:23:08	0:02:45	ko_has joined ("ko@h58.108.228.10.103222.vlan.kuins.net")					
3	4:23:17		何か入力すると					
4	4:23:28		ko_	他の参加者に配信され、共有される				
5	4:23:49		ko_	配信されたメッセージには自動的に時間情報が付けられる				
6	4:24:23		ko_	時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されている				
7	4:24:49		ko_	時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間が半角カンマで区切られている				
8								

- ⑧ マウスの左ボタンを押しっぱなしのまま、コピーしたい範囲までドラッグし、離すと数式がコピーされ、B 列の各行に A 列の時刻からビデオの撮影開始時刻を引き算した計算結果が表示されます。

	A	B	C
1	4:23:08		You have
2	4:23:08	0:02:45	ko_has jo
3	4:23:17		ko_
4	4:23:28		ko_
5			ko_
6			ko_
7	4:24:49		ko_
8			
9			

→

	A	B	C
1	4:23:08		You have joi
2	4:23:08	0:02:45	ko_has joine
3	4:23:17	0:02:54	ko_
4	4:23:28	0:03:05	ko_
5	4:23:49	0:03:26	ko_
6	4:24:23	0:04:00	ko_
7	4:24:49	0:04:26	ko_
8			
9			

- ⑨ 「保存」ボタンをクリックして保存します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	4:23:08		You have joined the channel					
2	4:23:08	0:02:45	ko_has joined ("ko@h58.108.228.10.103222.vlan.kuins.net")					

7. Excel ファイルを作る時の工夫・コツ

このマニュアルで紹介したような、IRC チャットのログをビデオ再生のインデックスに利用するという使い方は、「再生くん」の「時間情報と何らかの文字情報をセットにして記述されてさえいれば、記述する内容は何でも構わない」という特徴を活かしたものと言えます。

ただし、チャットのようにユーザが気づいたことをリアルタイムに記録していく場合、気づきから記録までにはタイムラグが発生するため、出来上がったインデックスからビデオを再生するときには、実際の現象が起きている場面より少し後の位置から再生されてしまいます。このような場合には Excel ファイルを編集して時間情報を数秒ずつ手前の時間に修正しておく方法も考えられますが、「再生くん」の「□秒手前から再生」機能を利用するとより便利です。この機能によって正確な位置から再生できるようになるわけではありませんが、少し前から再生して所望の場面が来るのを待てばよいことになり、閲覧時の負担がかなり軽減されます。さらに、所望の場面を見つけた後は、時間情報を正確な時間に書き直しておけば、以降はより正確な位置からの再生が可能になります。

「LimeChat」を用いてリアルタイムでインデックスを作成し、「再生くん」で利用できる形式に変換する方法の説明は以上です。「再生くん」を起動してビデオファイルを再生する方法については、「再生くん」マニュアル本編をご覧ください。